

アドミッション・ポリシー

大学院自然科学研究科

岡山大学大学院自然科学研究科では、岡山大学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築（知の府として、新たなパラダイムを構築）」を背景に以下のような意識と意欲を持った学生を求めています。

1. 人と自然の関わりに興味を持ち、地域や国際社会に貢献したいという強い意欲のある学生
2. 専攻する学問分野の基礎を修得し、先端研究分野に挑戦する強い目的意識を持っている学生
3. 旺盛な学習意欲を持ち、自ら考え、行動することのできる学生
4. 研究面でリーダーシップを発揮し、国際的に活躍したいという強い意欲を持った学生
5. 専門分野以外の分野にも興味を持ち、幅広い知識と視野を修得しようとい意欲を持った学生

大学院環境学研究科

21世紀の人類の安全、安心な生存を実現する持続型社会建設のために、積極的に貢献したいと考え、困難な問題解決のために柔軟で独創的な発想をもって研究に打ち込むことが出来る学生の入学を期待しています。さらに私たちは、環境学のアジア地域の拠点を目指しています。

学生諸君には、将来国際的に活躍できる能力を磨き、世界に貢献していただきたい。環境学研究科では、それらの意思と目的を持つ諸君の教育・研究支援を惜しみません。多くの有為な学生諸君の入学を期待しています。

自然科学研究科（博士後期課程）各専攻におけるアドミッション・ポリシー

【先端基礎科学専攻】

本専攻では、自然科学に強い興味と深い専門的知識をもち、自らの研究を展開でき、自然科学の発展に貢献できる人材の養成を目的としています。このような観点から本専攻では、確固たる知識と真理の探究への情熱をもち、学問に精進する強い意志をもつ者を求めます。

【産業創成工学専攻】

本専攻では、数学・物理学・工学を含む自然科学の専門知識を用いて技術開発や産業創成を目指す人を求めます。このため、研究者・技術者としての倫理観を有し、広い視野からの問題探索・解決能力や国際的なコミュニケーション能力を持ち、最先端の技術を集約した新たな産業や新規事業を創成することに強い意欲を持っている人を望みます。

【機能分子化学専攻】

本専攻では、広く機能性分子の解析及び創製の基礎となる自然科学の素養を有し、本専攻が対象とする研究分野での研究活動に対して強い意欲を有する人物を受け入れます。

【バイオサイエンス専攻】

本専攻では、志望する教育・研究分野が必要とする生物科学や生命科学あるいは生物生産の論理に関する基礎知識を有し、生物および生物機能の解明と応用を目指して、未知の領域を積極的に切り開いていく意欲にあふれる人を求めます。

環境学研究科（博士後期課程）各専攻におけるアドミッション・ポリシー

【社会基盤環境学専攻】

本専攻では、人間活動の主要な舞台である都市と農村を対象として、社会経済活動とそれを支える開発が環境に及ぼす影響を明らかにしようとしています。本専攻では、それを通して、環境と調和した地域社会を実現していくための社会基盤と空間を創り出すこと、大気、水、土壌、生物等の資源を持続的に利用すること、及び循環型社会を維持管理することなどについて、高い見識と問題解決能力を有し、国際的に活躍できる人材を養成しています。これらの問題に興味があり、必要な専門知識と学力を身につけていて、意欲的に研究を進めていける人を求めています。

【生命環境学専攻】

化石エネルギーに依存した経済行為が、人間社会を豊かにする一方、地球の環境悪化等多くの問題を生み出しています。それに対して、本専攻では、ヒトを含めた生物の生態系を保全し、かつ生物のヒエラルキーを豊かにするためのバイオサイエンス、食や環境問題に取り組み、ヒトの健康や安全・安心の社会を構築するための科学について、農学・工学・生物学・化学・統計学・医学などの自然科学、および経済学や倫理学などを含めた社会科学とを融合した学際的視点に基づき、国際的、実践的かつ最先端の教育研究を行っています。国際的または具体的な地域における生命環境分野に関する問題意識を持ち、自立して研究する能力の修得と高度な専門性と幅広い視野を必要とする技術開発に取り組むことを目指す人材の応募を期待しています。

【資源循環学専攻】

本専攻では、環境負荷を小さくし、資源の枯渇を抑制できる持続可能な社会の構築を目的として、高い専門知識と研究能力を有し、国際的に活躍できる人材を育成します。意欲的に取り組むことのできる次のような人を期待します。

- (1) 物質・資源のリサイクルを促進する技術開発やシステム構築に携わりたい人
- (2) 廃棄物の最適管理や、より安全で適切な最終処分法の開発に携わりたい人
- (3) 物質・エネルギーの高効率有効利用・変換技術の開発に携わりたい人
- (4) グリーンケミストリー技術や環境保全技術の開発に携わりたい人
- (5) 資源循環型社会を構築し、地域や国際社会に貢献したい人